

ニュースリリース

グロービス経営大学院、デザインカンパニーのグッドパッチ新設科目を共同開発 2024年度7月期より新科目「デジタル・プロトタイピング」の提供開始

グロービス経営大学院(東京都千代田区、学長:堀義人)は、デザインカンパニーの株式会社グッドパッチ(東京都渋谷区、代表取締役社長:土屋尚史 以下、グッドパッチ)と共同開発した科目「デジタル・プロトタイピング」を2024年度7月期に新たに開講します。日本最大のビジネススクール(*1)であるグロービス経営大学院は、豊富なデザイン実績を持つグッドパッチ社との協働によって、デジタル領域での顧客体験を創る力を身に着けられる科目を開発しました。本科目を通じてデザイナーの視点やデザインのアプローチを学ぶことで、ビジネスリーダーたちがビジネスの本質的価値を最大化し、未来の創造と変革を一層進められる存在になることを目指しています。

*1 参考:文部科学省「令和5年度専門職大学院一覧」

共同開発科目のリリースを記念し、2024年6月4日(火)にグッドパッチ 代表取締役社長 土屋尚史氏をお招きしてテクノバートセミナーを開催いたします。在校生・卒業生だけでなく、一般の方々も無料でご参加いただけます。

グロービス経営大学院は、2025年度にMBAプログラム「テクノバート*(2)MBA(TMBA)」「エグゼクティブMBA(EMBA)」開講を予定しており、それに先駆て2024年度にはテクノバート科目群ら7科目を新設・2科目を刷新し、順次受講者募集を開始しています。

*2 テクノバート:テクノロジーとイノベーションを組み合わせた造語



■進化するグロービスMBA:「デジタル・プロトタイピング」の開講背景と特徴

グロービスは1992年の創業以来、次代を見据えながら、社会・テクノロジーの進化に伴い創造と変革を体現してきました。昨今の社会変動は、AIやテクノロジーの進化など過去に例を見ないほど激しくなっています。ビジネス

環境が常に高速で変化する時代、イノベーションを起こす力は企業にとって競争力の源となっています。デジタルプロトタイピングは、新しいアイデアやコンセプトを迅速に試し、フィードバックを集め、改善することができるため、イノベーションプロセスを加速する重要な手法です。

デジタルプロトタイピングを分析ツールと合わせて使い、データドリブンで意思決定ができる人材は、組織の急速なトランスフォーメーションを実現するリーダーとしてチームを導くことができます。グッドパッチ社が持つ最前線の現場知とグロービスが持つ社会人教育のナレッジを合わせ開発した科目「デジタル・プロトタイピング」では、ビジネス領域とデザイン領域の垣根を越えて活躍できる「ビジネス×デザインの越境人材」を育てていくことができると考えます。

■グッドパッチが見据える経営人材の要件

グッドパッチは、顧客体験を起点に企業変革を前進させるデザインカンパニーです。UI/UXデザインの強みを生かして、経営戦略や組織変革、DX戦略やブランド戦略などさまざまな企業の課題解決を伴走支援しています。

変化の速い現代、イノベーションの必要性がかつてないほど高まり、既存プロダクトの改善や延長ではなく、抽象度の高い新しいアイデアをカタチにする力が求められています。一方で現場と経営層では見ている対象や観点到に乖離があるのが実情です。中長期的に顧客や社会に価値を届け続けるためには、現場と経営層が互いの視点を理解し、リスペクトし合うことが不可欠です。そのためには、経営層もプロダクト作りが「わかる」だけでなく「一定のレベルまでできる」ことが重要です。アイデアを実際にプロトタイプとして形にし、価値が提供できているのかを検証する。そのプロセスを通じてビジネスを育てる機会と体験を提供すべく、グロービス経営大学院とともに本科目を開発しました。

■デジタル・プロトタイピング科目概要:<https://mba.globis.ac.jp/curriculum/detail/dp/>

デジタルデザインツール「Figma」を使い、アイデアのビジュアル化とプロトタイプ作成のスキルを学びます。はじめにデジタルデザインの基本原則とFigmaの基本機能を学び、その後ショートケースをもとに実践的な演習を行います。演習で扱う問題は、リサーチしやすく広く一般的に需要があるものをケースにて提示します。

科目の前半では問題を解決するためのサービスやプロダクトのアイデアを各参加者が提案し、後半では、グループごとにアイデアをプロトタイプに発展させる工程を学びます。この科目では、協調作業とフィードバックの重要性にも焦点を当て、受講者同士でデザインを共有し、改善点をレビューします。最終回では各グループごとに完成させたプロトタイプをプレゼンテーションします。この過程を通じ、実践的体験としてのデザイン思考とプロトタイピングのプロセスを深く理解し、実務のプロジェクトへの応用能力を高めることを目指します。

開講:2024年7月

場所:通学(東京校)

対象:グロービス経営大学院 本科生・卒業生/GDBA卒業生

定員:25名

各回のテーマ:

- Day1 プロトタイピングの全体像、調査の実施とコンセプト設計
- Day2 コンセプトの具体化
- Day3 シナリオの具体化とプロトタイピング
- Day4 プロトタイプを用いた検証
- Day5 検証結果を用いたプロトタイプの改善
- Day6 サービス案とプロトタイプの発表



難波 美帆

グロービス経営大学院 教員

テクノバート・ファカルティグループ ファカルティ・コンテンツリーダー

2024年のビジネスリーダーにとって、自分でアイデアを具現化できることは大きな強みになります。デジタルツールの発展により、ノンデザイナーにもアイデアを具体的に構造的に見せることが容易になっています。本クラスは、デザインの知見で企業変革をサポートする豊富な実績を持つグッドパッチ社と協働で授業を開発し、最前線の実務に近い課題に取り組んでいただきます。使うデジタルツールは、デザイナーたちから高い人気を得ながらも、デザインの実務経験がない方にも使いやすいものです。グッドパッチ社のデザイナーに講師に入ってくださいことで、実戦ではどうツールを用いているのか、手元を見せていただきながら、自分でもつかって見ることができます。また実務経験がある方にとっても、グッドパッチ

社のプロトタイピング手法に触れることができるのが魅力となるとと思います。受講する方に、デザインで仕事の何が変わるか、プロトタイピングのコミュニケーションツールとしての効力を体感していただきたいです。



三浦 寛大氏

グッドパッチ UXデザイナー



毛利 慶二朗氏

グッドパッチ ディレクター・デザインアドバイザー

デザイナーの重要なスキルのひとつとして、アイデアやコンセプトなど「抽象度が高いものを具体化する」というものがあります。抽象度が高い議論の場で、さまざまな立場のステークホルダーが全員同じ方向を見て同じものを想像しながら、建設的な議論を進めることはとても難易度が高いです。そこで生きてくるのが、抽象的なものを具体化する力です。絵が描けなくても問題ありません。本クラスではツールを用いて手を動かしながらプロタイプを設計することで、曖昧だったコンセプトを、ユーザーや顧客を想像しながら具体化していきます。その過程を知ることで、デザイナーの視点や思考を知ることができます。講義を通じて、デザインを実践している状態を楽しみながら、デザイナーの視点やデザインのアプローチがビジネスに大いに活用できることを体感いただき、最終的に「デザインはデザイナーだけのものではない」と感じていただけると嬉しく思います。

■テクノバートセミナーのご案内

お申込みはこちら: <https://mba.globis.ac.jp/campus/online/seminar/240604-23975.html>



テーマ: デザインの力でビジネスを前進させる

日時: 6/4(火) 19:30~20:40

場所: オンライン (Zoom) にて開催

GLOBIS Brand Communications
pr-info@globis.com

参加費:無料

登壇者:土屋 尚史氏 株式会社グッドパッチ 代表取締役兼CEO

モデレーター:難波 美帆 グロービス経営大学院 教員

TMBA・EMBA及び各科目の詳細につきまして、取材のお申込みを受け付けております。
取材を希望されるメディア関係者の方は、グロービス 広報室宛てにご連絡をお願いします。

取材申し込み先 (E-MAIL)

グロービス 広報室 pr-info@globis.com

◇株式会社グッドパッチ (<https://goodpatch.com/>)

グッドパッチは、顧客体験を起点に企業変革を前進させるデザインカンパニーです。デザインパートナー事業では、グッドパッチならびにフルリモートデザイン組織「Goodpatch Anywhere」により、新規事業の立ち上げ、既存事業のリニューアル、企業のデザイン戦略立案、デザイン組織構築支援などを行い、大企業からスタートアップまで企業が持つビジネス課題をデザインで解決しています。デザインプラットフォーム事業では、デザイナー特化型キャリア支援サービス「ReDesigner」、デザイナーを目指す学生向け就活プラットフォーム「ReDesigner for Student」、オンラインホワイトボード「Strap」を提供し、デザインによる価値創造に取り組んでいます。

◆グロービス経営大学院 ([日本語プログラム](#)、[英語プログラム](#))

グロービス経営大学院は、2006年の開学以来「能力開発」「人的ネットワークの構築」「志の醸成」を教育理念に掲げ、ビジネスの創造や社会の変革に挑戦する高い志を持ったリーダー輩出のために尽力しています。日本語MBAプログラムは、東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・オンラインの6キャンパスに加え、水戸・横浜に特設キャンパスを開設。英語MBAプログラムは、パートタイム・フルタイム・オンラインを展開し、世界各国から多様な学生が集まっています。2006年開学当初78名だった入学者数は、2024年4月にはパートタイム&オンラインMBAプログラム(日本語)で977名に達し、在校生・卒業生は合計1万人を超え、日本最大のビジネススクールに成長を遂げました。グロービス経営大学院は、今後も創造と変革を担うビジネスリーダーを育成し、テクノベート時代の世界No.1MBAを目指していきます。

◆グロービス (<https://www.globis.co.jp>)

グロービスは1992年の設立来、「経営に関するヒト・カネ・チエの生態系を創り、社会の創造と変革を行う」ことをビジョンに掲げ、各種事業展開を進めてきました。「ヒト」の面では、学校法人としての「グロービス経営大学院」ならびに、株式会社立のスクール「グロービス・エグゼクティブ・スクール」「グロービス・マネジメント・スクール」、企業内研修事業を行うグロービス・コーポレート・エデュケーションとeラーニングやオンラインクラスのほか定額制動画学習サービス「GLOBIS 学び放題」などを提供するグロービス・デジタル・プラットフォーム、「カネ」の面では、ベンチャー企業への投資・育成を行うベンチャー・キャピタル「グロービス・キャピタル・パートナーズ」、「チエ」の面では、出版事業ならびにオウンドメディア「GLOBIS 学び放題×知見録」により、これを推進しています。さらに社会に対する創造と変革を促進するため、一般社団法人G1によるカンファレンス運営、一般財団法人KIBOW による震災復興支援および社会的インパクト投資を展開しています。

グロービス:

学校法人 グロービス経営大学院

・日本語(東京、大阪、名古屋、仙台、福岡、オンライン)／英語(東京、オンライン)

株式会社 グロービス

- ・グロービス・エグゼクティブ・スクール
- ・グロービス・マネジメント・スクール
- ・企業内研修
- ・出版／電子出版
- ・「GLOBIS 学び放題×知見録」／「GLOBIS Insights」
- ・「GLOBIS 学び放題」／「GLOBIS Unlimited」

グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社

顧彼思(上海)企業管理諮詢有限公司

GLOBIS Asia Pacific Pte. Ltd.

GLOBIS Asia Campus Pte. Ltd.

GLOBIS Thailand Co. Ltd.

GLOBIS USA, Inc.

GLOBIS Europe BV

GLOBIS Manila Inc.

その他の活動:

- ・一般社団法人G1
- ・一般財団法人KIBOW
- ・株式会社茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント
- ・株式会社LuckyFM茨城放送

【取材に関するお問い合わせ先】

グロービス 広報室 担当:土橋涼

E-MAIL: pr-info@globis.com